

# 介護テクノロジー導入支援研修 応用編

## ～介護テクノロジーの活用に向けた運用方法について～

施設課題に沿った介護テクノロジーの導入及び円滑で効果的な介護テクノロジーの運用を考えられる人材育成を図るための実技研修を行います。移乗・排泄・見守り支援分野の3分野の介護テクノロジーについて、介護業務における労働環境改善支援事業で導入予定である機器を使用して、導入後を見据えた活用方法（適切な機種、台数、運用方法）について学ぶことができます。

本研修で使用する対象機器は、別紙「応用研修対象機器一覧」をご確認ください。

### ○ 研修目的

- ・施設課題に沿った介護テクノロジーの導入を検討する機会とする
- ・導入する介護テクノロジーの製品の特徴を把握し、運用方法を検討する機会とする
- ・導入した介護テクノロジーの導入により改善する業務を焦点化し、その導入効果を確認する手段を獲得する機会とする

○ 日時 令和6年9月～10月頃（詳細は受講決定事業者に別途通知します）

○ 場所 兵庫県立福祉のまちづくり研究所 2階次世代型住モデル空間

○ 申込要件 次の要件をすべて満たすこと

- ①兵庫県内に所在する介護保険法に基づく指定または許可を受けた介護サービス事業所（居宅療養管理指導、福祉用具貸与及び特定福祉用具販売を除く。）
- ②令和6年度介護業務における労働環境改善支援事業を申請して介護テクノロジーを導入する施設
- ③1施設より、原則として施設長および現場の職員（2名以上）が参加できる施設（最大5名）

○ 募集定員 20事業所程度（選考により受講事業所を決定します）

○ 研修内容[プログラム]（予定） 13:30～16:30 適宜休憩を設けます

時間	内容
20分	PDCAサイクルを用いた介護テクノロジーの現場での運用について
20分	導入機器の説明（製品特徴、導入施設の運用場面紹介）、質疑応答込み
60分	ディスカッション①施設状況、導入機器の整理、施設課題と介護テクノロジーに期待する効果
60分	ディスカッション②改善を期待する業務および機器の運用案、効果確認手段
20分	情報共有（発表）、全体質疑応答

※施設背景や導入機器、改善課題等を記載する事前課題を配布します。

受講前に施設職員からの情報収集、課題の確認、運用方法の検討を行うことが望ましいです。

- 受講料 無料
- 申込期間 8月9日（金）～9月2日（月）
- 申込方法 兵庫県ホームページに記載の申込 URL よりお申し込みください。  
URL : <https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf05/kaigorobotkenshu.html>
- その他
  - ・ 本県の生産性向上の取組として介護テクノロジー等の導入効果等の成果報告を依頼する場合がありますので、ご協力ください。
  - ・ 本研修の受講決定事業者は、「令和6年度介護業務における労働環境改善支援事業」に優先して採択されます。
  - ※受講希望者多数の場合など、本研修を受講いただけない場合があります。
  - ※本研修への申込とは別に、「令和6年度介護業務における労働環境改善支援事業」の申請手続が必要です。必ず、申請期間内に、各事業所において「令和6年度介護業務における労働環境改善支援事業」の申請手続を行ってください。
- 問合せ先
  - 研修内容に関すること  
兵庫県立福祉のまちづくり研究所  
TEL: 078-925-9282 Mail: robo-shien@assistech.hwc.or.jp
  - 補助金や制度に関すること  
兵庫県福祉部高齢政策課 介護基盤整備班  
TEL: (代表) 078-341-7711 (内 2974)